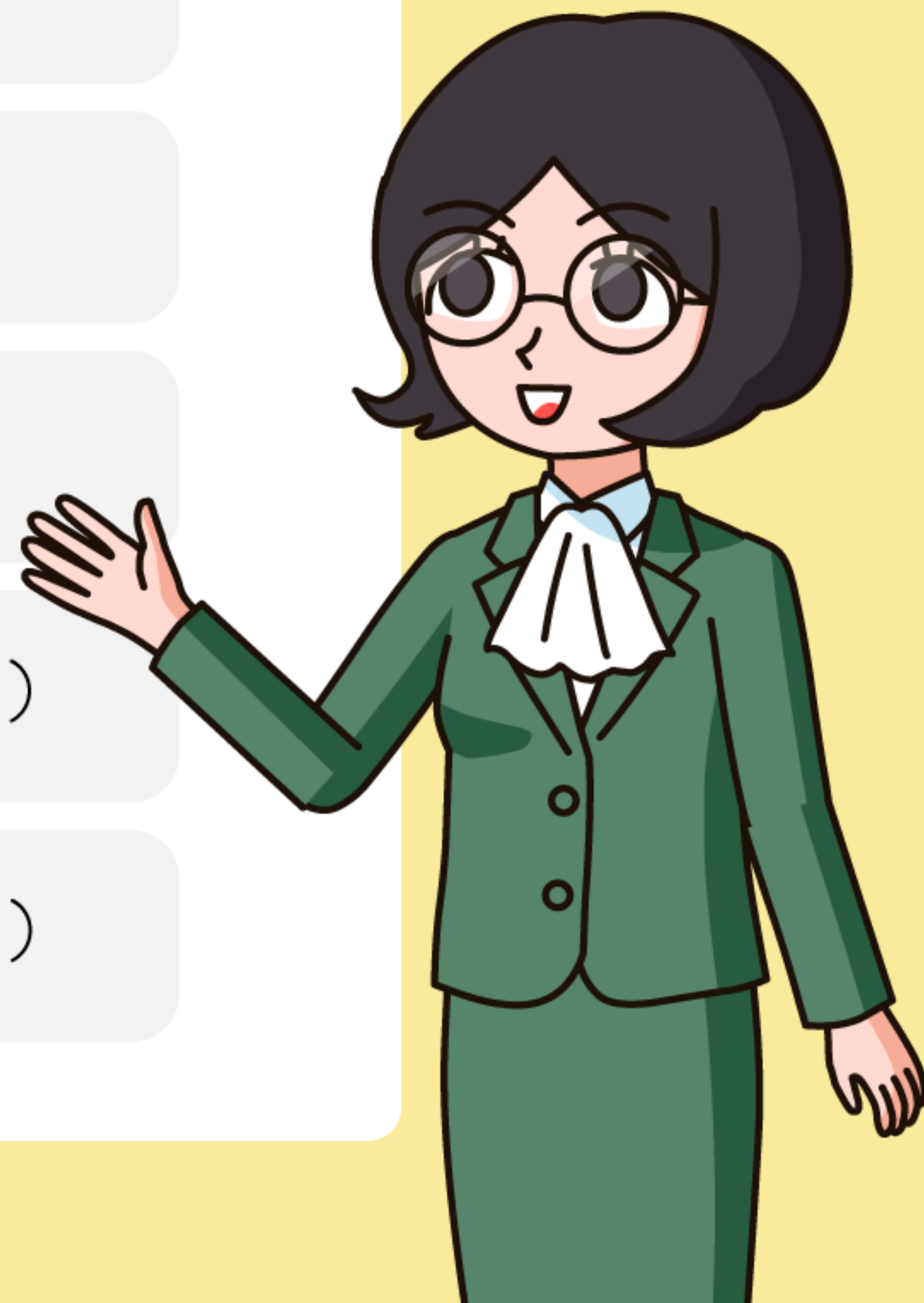


ワーク資料（目次）

- 1 流々島（るーるじま）について
- 2 橋の建設について
- 3 各町の財政について
- 4 各案のメリット・デメリット（その1）
- 5 各案のメリット・デメリット（その2）

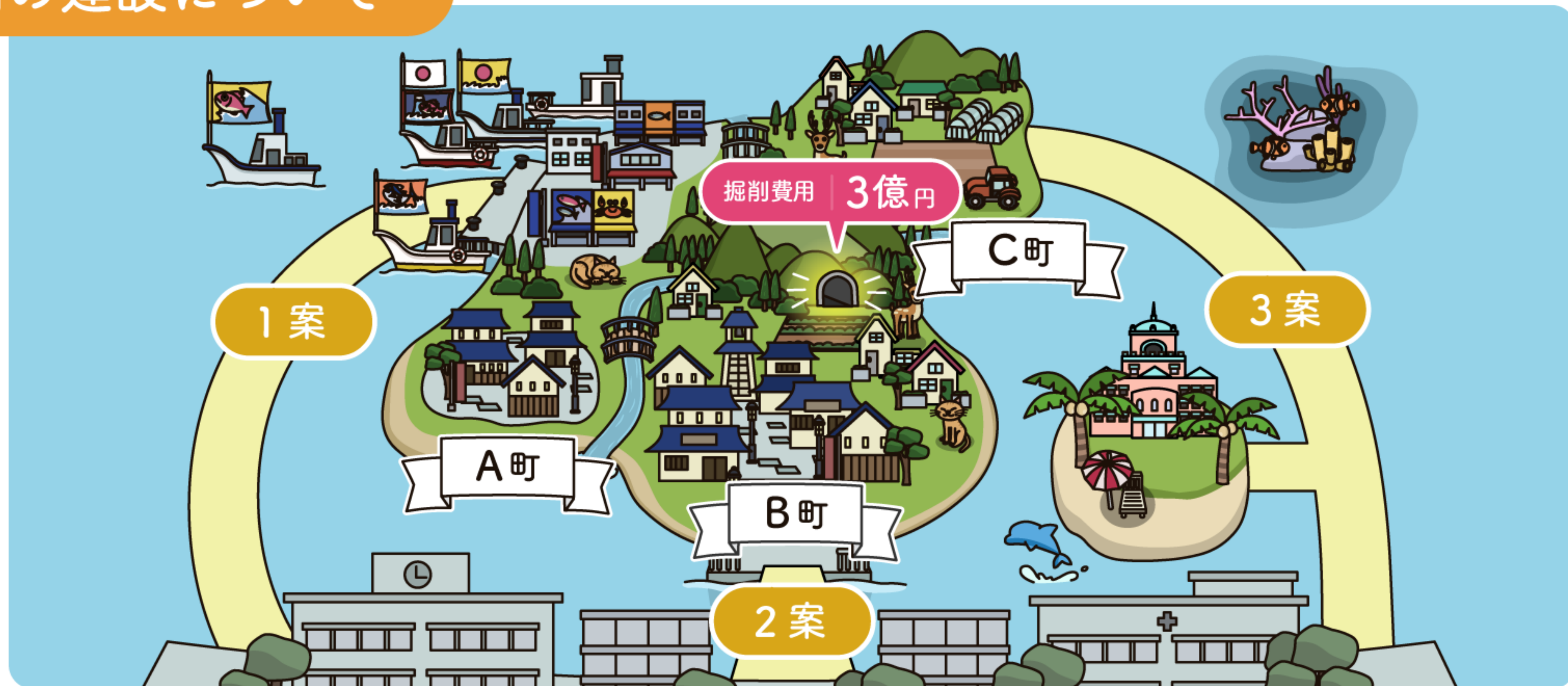


1 | 流々島（るーるじま）について



- 島には、西のA町、南のB町、東のC町の3つの町がある。
- A町の西側には、漁業者にとって大事な漁場がある。
- 島には大きな病院、高校、商業施設が無い。これらに用事がある時は、B町の船着き場から定期船に乗らなくてはならず、とても不便である。
- B町とC町の間には山脈があり、迂回しないと行き来が出来ない。
- A町とB町にある「昔ながらの町並み」は、世界文化遺産の候補地に挙がっており、年中、多くの観光客が訪れている。
- C町の北東には、とても美しいサンゴ礁の地帯がある。

2 | 橋の建設について



生活の不便さを解消するため、定期船を廃止し、市街地と島との間に橋を作ることになった。

橋の建設費用は、各町が合意した金額でそれぞれ負担する。

各町が負担する金額は、町の予算を無駄遣いすることなく、最低限に抑える必要がある。

追加で3億円かけて、山脈にトンネルを掘ることも出来る。

3 | 各町の財政について

	A 町	B 町	C 町
主な産業など	観光業、漁業 ※ 観光による収入が多く、 財政には余裕がある。	観光業、農業 ※ 観光による収入が多く、 財政には余裕がある。	農業 ※ 観光による収入は僅かで、 厳しい財政状況にある。
支出限度	7 億	6 億	2 億

なお、橋の建設に必要な費用は以下のとおり見込まれている。

1 案

10 億円

2 案

8 億円

3 案

12 億円

※ 3 億円を追加して、山脈にトンネルを掘ることができる。

4 | 各案のメリット・デメリット（その1）

【市街地とのアクセス】

	A 町	B 町	C 町
現在（定期船）	90 分	60 分	140 分
1 案	40 分	70 分	90 分
2 案	45 分	15 分	95 分 ※トンネルを掘れば45分
3 案	100 分	130 分 ※トンネルを掘れば80分	50 分

5 | 各案のメリット・デメリット（その2）

【産業への影響】

	A 町	B 町	C 町
1 案	○ 車での観光集客増加が見込める。 ○ 世界遺産となる可能性が維持される。 ✗ 漁場に悪影響を与える可能性がある。	○ 車での観光集客増加が見込める。 ○ 世界遺産となる可能性が維持される。	△ 特段の経済効果は無い。
2 案	✗ 世界遺産の候補地から外された場合、観光集客が減少する可能性がある。 △ 漁業への影響は発生しない。	✗ 世界遺産の候補地から外された場合、観光集客が減少する可能性がある。 ○ 船着き場を利用したクルーズツアーなど、観光ビジネス拡大の可能性がある。	○ トンネルが開通してアクセスが向上すれば、サンゴ礁を活用した観光ビジネス開拓の可能性がある。 ✗ トンネルが開通しなければ、アクセスの悪さから人口減少が進んでしまう可能性がある。
3 案	△ 観光集客は増減しない。 ○ 世界遺産となる可能性が維持される。 △ 漁業への影響は発生しない。	○ トンネルが開通してアクセスが向上すれば、車での観光集客増加が見込める。 ○ 世界遺産となる可能性が維持される。	○ アクセスの向上により、サンゴ礁を活用した観光ビジネス開拓の可能性がある。